

### 3年生『丹波篠山市学力状況調査』の結果について

4月18日に実施しました「丹波篠山市学力状況調査」の結果を報告します。3年生全体としては、国語、算数いずれにおいても目標値を上回り良好な結果でした。学力の定着状況をご理解いただき、学習習慣の改善や学校の教育活動に対して支援をお願いします。

問題内容（問題数）			正答率（％）	
			3年	
			目標値	本校
国語	○成果	漢字を書く。（4問）	71	△79
	○成果	文章を書く。（1問）	73	△84
	●課題	漢字の書き順がわかる。（2問）	70	▼54
	●課題	説明文の内容を読み取る。（3問）	63	▼52
算数	○成果	計算ができる。（9問）	87	△94
	○成果	長さ・かさがわかる。（4問）	69	△78
	●課題	式に合った文章を選べる。（1問）	65	▼47
	●課題	考え方を説明できる。（2問）	30	▼13

※目標値は、学習内容に対して正答できることを期待した児童の割合（点数）です。

#### < 3年国語 >

##### ○成果……漢字を書く。文章を書く。

「漢字を書く（4問）」の正答率は、79%（目標値71%）でした。学校では、授業や朝のスキルタイムで新出漢字の指導を丁寧に行いました。そして、家庭学習での練習、小テストでの確認を繰り返すことにより漢字の定着を図りました。このような漢字学習の取り組みの成果だと考えています。

「文章を書く」問題の正答率は、84%（目標値73%）でした。授業の中での書く内容を明確にした指導や、普段の作文指導の成果だと考えています。

##### ●課題……漢字の書き順がわかる。説明文の内容を読み取る。

「漢字の書き順がわかる（2問）」の正答率は、54%（目標値70%）と目標値を下回りました。普段の指導で、書き順の大切さを理解させ、正しい書き順で書く習慣をつけていきます。

説明文の内容を読み取る力に課題があります。この結果から、説明文の学習では、事柄の順序を考えながら読み取っていく活動を大切にしていきます。そして、文中の言葉が何を指しているのかを考えたり、大切な言葉を見つけて要約したりする学習を今後の授業の中で工夫していきます。

課題のある問題

5

つぎの文しようを読んで、下のもんだいに答えましよう。

ペンギンは、ほかの鳥のなかまと同じように二まいの羽をもつてはいますが、それはとても小さなもので、空をとぶには役に立ちそうもありません。

ペンギンのすむ場所は海で、食べるエサが海の中にすむ魚や小動物なので、長い間に、空をとぶことよりもおよぐことや海にもぐるほうがとくになりましよう。

そして、<sup>①</sup>体もそれに合うようにだんだん変化してきたのです。

そして、大空をとぶための羽が、海にもぐってエサをとるためのヒレのようにかわってしまったのです。

ペンギンは、りくや氷の上をよちよちと歩きますが、けってして上手に歩けるとはいえませんが、いそぐときには、雪や氷の上で腹ばいになって、足で雪や氷をけってすべるのです。

<sup>②</sup>ところが、海で見るペンギンはまるでべつの生きものようです。

ペンギンは、大きな水かきのある足をつかって水面をスイスイとおよぎます。

そして、海中にもぐると、足を後ろにのばしてかじのようにつかい、羽で水をかいて、ものすごいスピードで魚や小動物をおいかけるのです。

(中村庸夫「ペンギンの国へ」しようたい)より

(1) 「体もそれに合うようにだんだん変化してきた」とありますが、どのような体にかわったのですか。

つぎから一つえらんで、その番号を書きましよう。

- 1 ほかの鳥と同じように空をとべる体。
- 2 どんなエサでも食べられるような体。
- 3 およいだりもぐったりするのがとくいな体。
- 4 りくの上を上手に歩くことができる体。

(2) 「海で見るペンギンはまるでべつの生きものようです」とありますが、どういうことですか。つぎから一つえらんで、その番号を書きましよう。

- 1 りくの上とはちがつて、とてもすばやく上手にうごくということ。
- 2 体の形がかわっていて、ひと目ではペンギンだとわからないということ。
- 3 りくの上にいるときよりおとなしく、あまりうごかないということ。
- 4 体が大きく見えて、なんとなくおそろしいかんじがするということ。

【正解】

(1) → 「3」  
▼岡野小 52%  
目標値 70%

(2) → 「1」  
▼岡野小 48%  
目標値 60%

語彙を豊かにすることを  
含め、国語力の向上には、学  
校の授業以外の時間に、本  
や新聞などを読み、多くの  
言葉や文字に触れることが  
大切だと考えています。

(1) は3が正答ですが、1や2と答えている誤答が43%ありましよう。「それ」という言葉が「およぐことや海にもぐるここと」を指していることを理解することが大切になりましよう。

(2) は1が正答です。2や3の誤答が48%ありましよう。「まるでべつの生きもの」というのが、水面をスイスイとおよぐ様子を表していることをとらえることが大切でしよう。

### < 3 年算数 >

○成果……計算ができる。長さ・かさがわかる。

「計算ができる (9 問)」の正答率は 94% (目標値 87%) でした。これは、朝のスキル学習や週末の「復習プリント」等を通して、苦手な問題を中心に何度も取り組んだ成果だと思われます。

「長さ・かさがわかる (4 問)」の正答率は 78% (目標値 69%) で目標値を上回りました。具体物や視聴覚機器を使うなど、授業を工夫して行ったことの成果が表れていると思われます。

●課題……式に合った文章を選べる。考え方を説明できる。

「式にあった文章を選べる (1 問)」の正答率は 47% (目標値 65%) で目標値を下回りました。文章の中のキーワードとなる言葉から立式したり、図や絵を使って内容イメージして立式したりする力を今後育てていきます。

考え方を文章で説明する力に課題があります。授業の中での考え方をノートにまとめたり、発表し合ったりする場面を、今後はより重視して取り組んでいきます。

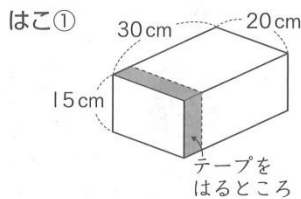
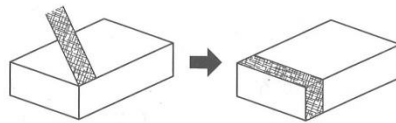
### < 3 年算数 >

- (3) お楽しみ会では、それぞれがもってきたプレゼントのはこに、学年ごとにもようのちがうテープをはります。テープは、つぎの図のようにはこをひとまわりさせます。



テープは、  
はこの4つの  
めん  
面を通るね。

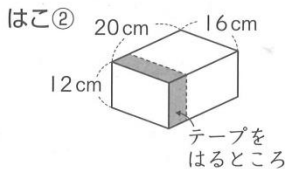
ゆなさんは、長さが80cmのテープを持っています。右の図のように、はこ①にテープをはれるかどうかを、つぎのように考えました。



ゆなさんの考え方

つかうテープの長さは、  
 $20 + 15 + 20 + 15 = 70$ で、70cmだから、  
長さが80cmのテープではれます。

りょうさんは、右の図のようなはこ②に、テープをはります。長さが50cmのテープではれるかどうかを考えます。



りょうさんの考え方

つかうテープの長さは、

※答えは解答用紙に書きましょう。

ゆなさんの考え方と同じように、りょうさんの考え方の□にあてはまるしきとことばを書きましょう。

【正解】

「 $16 + 12 + 16 + 12 = 56$  だから、長さ 50cm のテープでははれません。」

▼岡野小 9%  
目標値 30%

箱の形の辺の長さから、テープをはれるかどうかを説明する問題です。

「ゆなさんの考え方」の書き方を参考にして、変更しなければいけない数字や言葉だけを書き直します。

たし算の答えから、はれるかはれないかを判断することがポイントになります。

計算ミスをしないことも大切です。